令和 8年10月26日（月） 令和8年度　第2回 大阪府河川整備審議会	資料1－2

淀川水系神崎川の河川整備の事業評価について

淀川水系神崎川の河川整備の事業評価に対する
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

1．事業概要

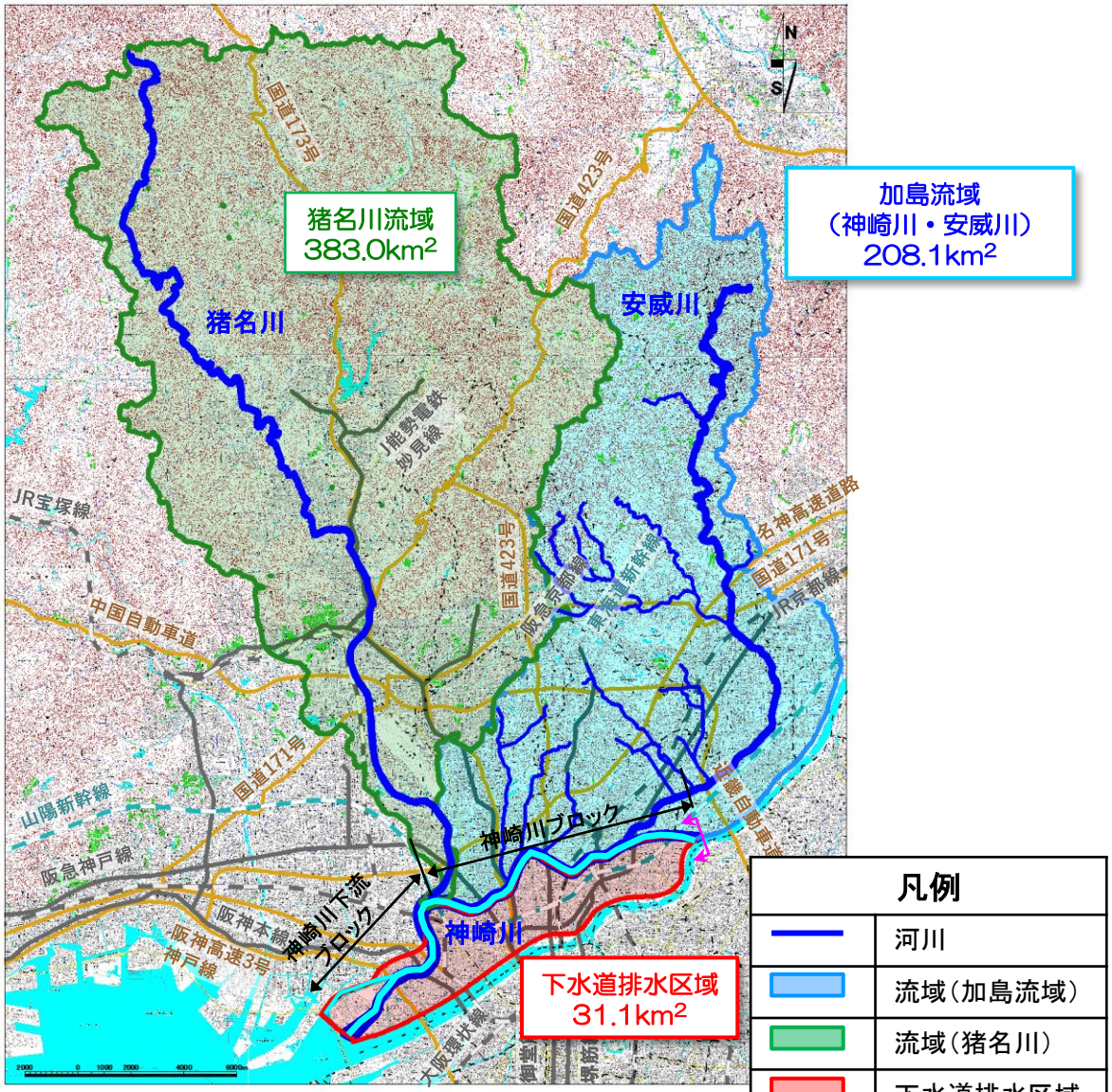
流域の概要

- 流域市町：大阪市、豊中市、吹田市、摂津市、茨木市、高槻市、箕面市、豊能町
- 指定区間延長：神崎川18.59km
- 流域面積　　：神崎川622.2km^2

- 神崎川は猪名川・安威川などの支川があり、広大な流域面積をもつ。流域の低平地では、そのほとんどが宅地化しており、丘陵部は宅地やゴルフ場などの開発が進んでいる。流域北部は山地が広がり、河川沿い等の一部に平地や集落等が分布している。
- 神崎川周辺では、住宅や工場などで高度に市街化が進んでおり、人口・資産が集中している。また、下水道排水区域など雨水を河川に自然放流できない区域があり、洪水が発生すると被害は甚大になると考えられる。
- 流域内には、我が国の国土軸となる重要交通網が集中している。

  広域緊急交通路：名神高速道路、中国自動車道、近畿自動車道、国道171号、国道423号など

  鉄道：東海道・山陽新幹線、JR京都線、阪急線、地下鉄御堂筋線など



流域名	指定区間延長（km）	流域面積（km^2）
神崎川	18.59km	622.2km^2

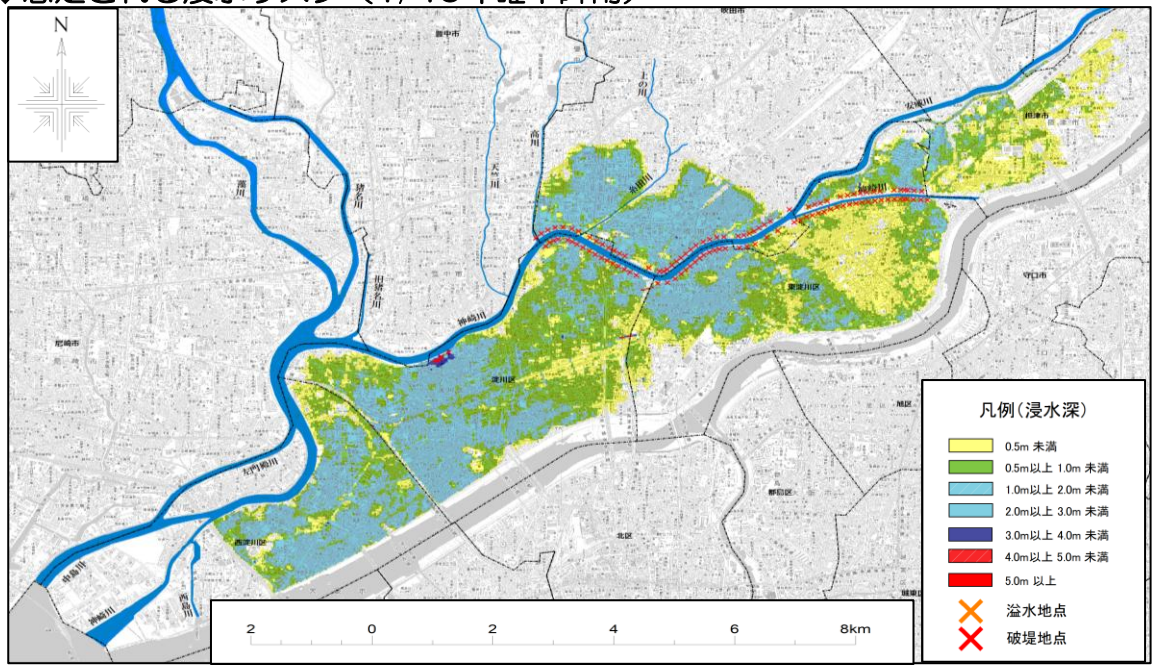
1．事業概要

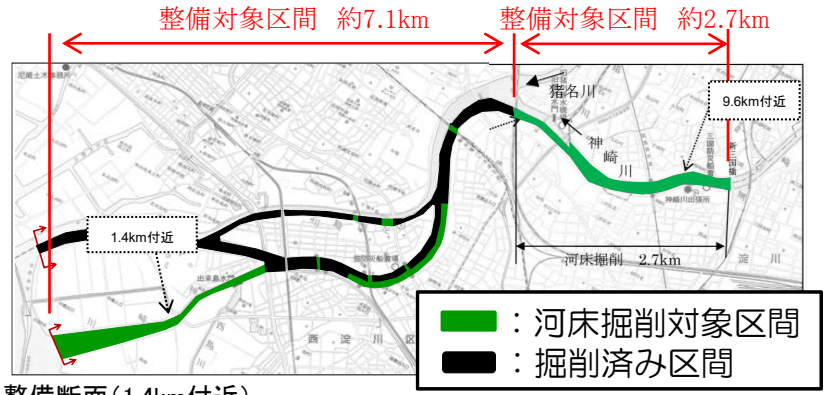
事業内容

- 神崎川では、事業効果等を考慮して、時間雨量65ミリ程度の降雨（40年に1度程度発生する恐れのある降雨）による洪水で床上浸水を防ぐことを当面の目標として整備を行います。
- 整備対象区間において、河床掘削等の洪水対策を実施します。

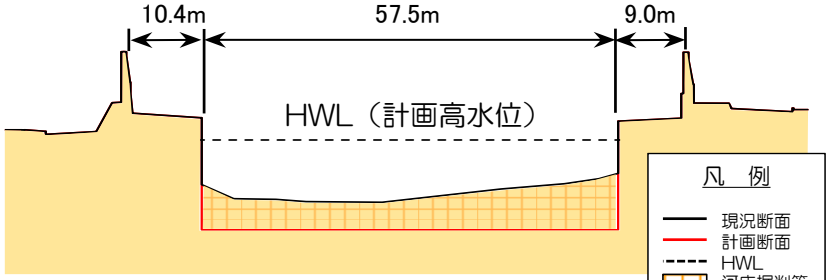
河川名	整備対象区間	延長	整備内容
神崎川	河口～猪名川合流点 （猪名川合流点より下流）	約7.1km	河床掘削を実施する。 河床掘削に伴い環境基準を超過するﾀﾞｲｵｷｼﾝ類などが発見された場合には、適宜処理方法を検討し対処する。
	猪名川合流点上流～新三国橋下流 （猪名川合流点より上流）	約2.7km	河床掘削を実施する。 河床掘削に伴い、橋脚の補強が必要とされる橋梁については、照査を行い、対策を講じる。

◇想定される浸水リスク（1/40年確率降雨）

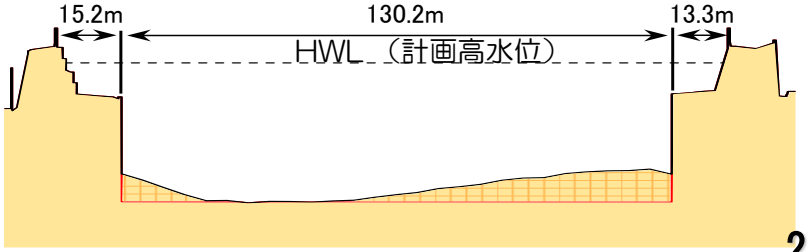




整備断面（1.4km付近）



整備断面（9.6km付近）



1．事業概要

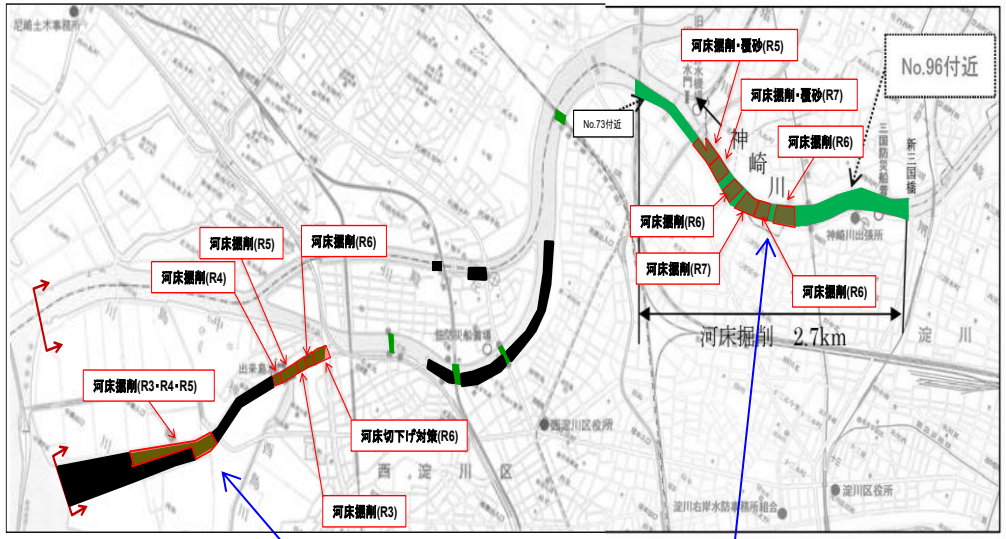
R3年度～R7年度末までの工事実施状況

【河床掘削】
- 河口～猪名川合流点までの区間で掘削を実施。
- 整備対象区間全体で約96万m^3を掘削するうち、約77万m^3を掘削済み。残掘削土量は約19万m^3となっている。

河川名	整備対象区間	整備延長	進捗状況
神崎川	河口～新三国橋下流	約9.8km	掘削済み：約77万m^3 残掘削　：約19万m^3

【護岸補強】
- 護岸全面を計画河床高まで掘削した際、護岸の安定性が不足する区間があるため、護岸背面を地盤改良する。
- JR東海道本線神崎川橋梁（下流）～新三国橋までの区間において地盤改良工事を実施。
- 整備対象区間（5.2km）のうち、約1.1km補強済。

河川名	整備対象区間	整備延長	進捗状況
神崎川	ＪＲ東海道本線神崎川橋梁（下流）～新三国橋	5.2km （左右岸合計）	工事済み：約1.1km 残工事　：約4.1km





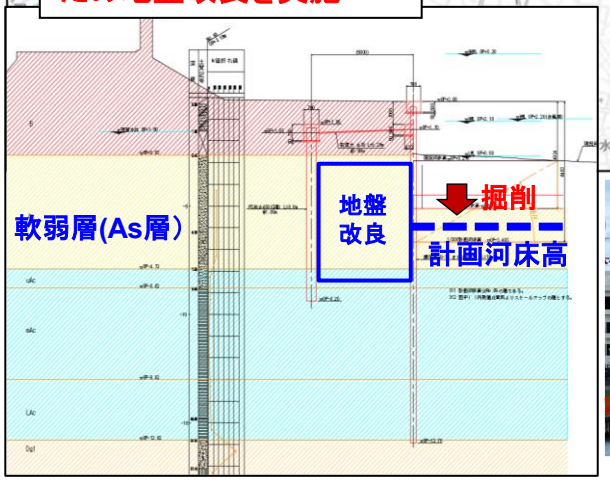
改修済み箇所



改修予定箇所



護岸の安定性を確保するため地盤改良を実施





2．図書の縦覧

➢ 意見募集期間：令和8年8月6日（木）から令和8年9月4日（金）まで

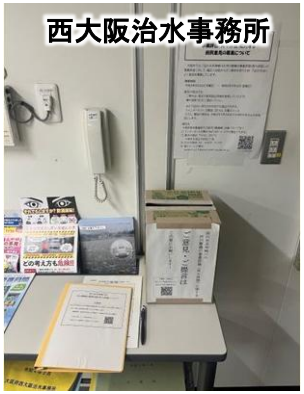
縦覧図書

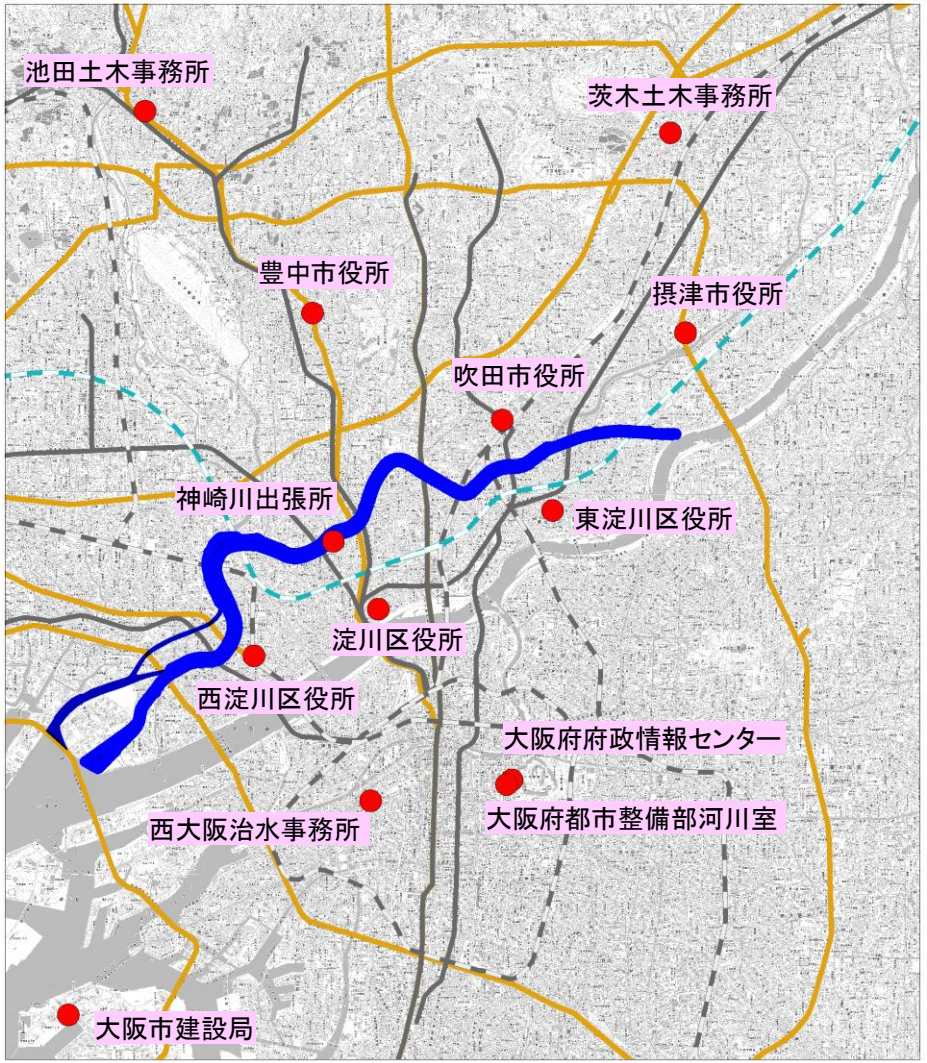
●第1回　河川整備審議会資料（R8.7.17）
・淀川水系神崎川の河川整備の再々評価調書
・淀川水系神崎川の河川整備の事業評価について

縦覧場所・縦覧状況

●以下の13箇所

・大阪府府政情報センター　（大阪府庁本館1階）
・大阪府都市整備部河川室　（大阪府庁別館4階）
・池田土木事務所　（豊能府民センタービル内）
・茨木土木事務所　（三島府民センタービル内）
・西大阪治水事務所　（津波高潮ステーション併設）
・西大阪治水事務所　神崎川出張所
・大阪市　建設局　道路河川部　河川課　（ATCビルITM棟）
・吹田市　下水道部 管路保全室　（吹田市役所本庁舎内）
・摂津市　建設部　水みどり課　（摂津市役所本庁舎内）
・豊中市　都市基盤部　基盤管理課　（豊中市役所本庁舎内）
・西淀川区　区政企画課　（西淀川区役所内）
・東淀川区　企画総務課　（東淀川区役所内）
・淀川区　政策企画課　（淀川区役所内）





2．図書の縦覧

- 府民の皆様から幅広くご意見を募集するため、ホームページに縦覧図書を掲載し、意見募集を実施。
- 公式X（旧Twitter）から、意見募集の案内を広報

大阪府（河川室）

大阪府 Osaka Prefectural Government

防災・緊急情報 | 分類から探す | 目的から探す | 組織から探す | キーワードから探す

淀川水系神崎川の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、淀川水系神崎川の河川整備の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

- 対象事業名
  淀川水系神崎川の河川整備について

1.募集対象項目

淀川水系神崎川の河川整備の事業評価

- 淀川水系神崎川の河川整備の再々評価調書　Word版（ワード：47KB）/PDF版（PDF：185KB）
- 淀川水系神崎川の河川整備の事業評価について　PowerPoint版（PPT：17,962KB）/PDF版（PDF：7,450KB）

2.募集期間

令和8年8月6日木曜日　9時00分　から　令和8年9月4日金曜日　24時00分　（※郵送の場合は消印有効）

関係市

（大阪市）

大阪市
https://www.city.osaka.lg.jp › yodogawa › page

大阪市淀川区：淀川水系神崎川の河川整備の事業評価（再々 ...

2026/08/06 — 大阪府では、淀川水系神崎川の河川整備の事業評価（再々評価）について、**皆様のご意見を募集しています。** 詳細については、府のホームページ 別 ...

（吹田市）

吹田市公式ウェブサイト
https://www.city.suita.osaka.jp › kurashi

淀川水系神崎川の河川整備の事業評価（再々評価）に対する府民 ...

大阪府では、淀川水系**神崎川の河川整備の事業評価**（再々評価）について、**府民**の皆様のご意見を募集しています。 詳細の内容については、府のホームページでご覧 ...

公式X（旧Twitter）

（大阪府）

もずやん@大阪府広報担当副知事
@osakaprefPR

＼「淀川水系神崎川の河川整備の事業評価」について意見募集中！／
パブリックコメントは、計画や条例などをつくる前に、皆さまの意見をお聞きする仕組みやで☆
あなたの意見が、今後の検討に活かされるで♪
ぜひ意見を寄せてみてな！

pref.osaka.lg.jp/o070050/fumin/...

（淀川区）

大阪市淀川区役所【公式】
@yume_yodogawa

／
淀川水系神崎川の河川整備の事業評価（再々評価）対する府民意見の募集について
＼

大阪府では、淀川水系神崎川の河川整備の事業評価（再々評価）について、皆様のご意見を募集しています。区役所５階５１番窓口にも府民意見用の投函箱を設置しています。

詳細はこちら



pref.osaka.lg.jp
淀川水系神崎川の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

午前9:00 · 2026年8月6日 · **844** 件の表示

（東淀川区）

大阪市　東淀川区役所
@kobushinominori

【神崎川の河川整備の事業評価（再々評価）に対するご意見を募集しています】
大阪府では、淀川水系神崎川の河川整備の事業評価（再々評価）について、府民の皆様のご意見を募集しています。詳細の内容については、府のホームページでご覧いただけます。

午前11:23 · 2026年8月6日 · **803** 件の表示

3．意見募集結果

意見募集結果

いただいたご意見の総数は、5件

項　目	件　数
1．治水対策に関するもの	3件
2．河川環境に関するもの	1件
3．その他	1件
【合　計】	5件

4．意見に対する回答

1．治水対策に関するもの

いただいたご意見（3件）	①河川治水にご尽力いただき誠にありがとうございます。 昨今の世界情勢により、事業費の上昇は避けられません。 事業進捗率はR7年度末で61%とのことですが、事業の前倒しを行えれば将来的なコスト削減及び進捗率上昇による府民の安全度も向上すると思います。 人・モノの問題もありなかなか難しいと思いますが、早期完成に向け、ご検討よろしくお願いします。
	②近年、異常気象や記録的降雨により、各地で災害が出ています。神崎川でも今後、記録的降雨により氾濫や浸水が起きないように、事業を1日でも早く完成させてほしいです。 また、専門的な知識がなくてもB/Cのことが府民にも分かりやすく図や絵で説明していただけるとありがたいです。
	③近年、線状降水帯による豪雨が各地で起きています。時間雨量100mm超えもよく耳にするようになりました。現在、想定雨量が65mm/時との事なので、まずは事業の早期達成を望みます。 淀川・大和川ほどの知名度はありませんが、大阪市北部の安全の要である神崎川の発展を期待しています。

4．意見に対する回答

1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見①、②、③
「事業の早期完了について」

- 大阪府では、平成22年６月に策定した「今後の治水対策の進め方」を踏まえ、人命を守ることを最優先に、「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」各施策を、効率的・効果的に組み合わせて実施することとし、時間雨量50ミリ程度の降雨に対して床下浸水を防ぎ、かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度で床上浸水を防ぐよう河川毎に当面の治水目標や治水手法を設定しています。河川改修事業の実施にあたっては、浸水が発生しやすく人命へのリスクの高い箇所や、近年に家屋浸水が発生した河川等の条件から優先度を総合的に判断した上で実施箇所を選定し、計画的に事業を推進しています。
- そのうち神崎川では、時間雨量65ミリ程度の降雨（40 年に1 度程度発生する恐れのある降雨）による洪水で床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として、河川整備を実施しています。
- 現在、猪名川合流点上流～新三国橋下流において順次工事を実施しております。
- 引き続き、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。

4．意見に対する回答

1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見①、②、③ 〈参考〉

- 整備途上に現況河川の流下能力を上回る降雨や、事業完了後であっても計画を超える規模の降雨により浸水被害が発生する可能性があることから、住民の方々が自ら適切な避難行動を行えるようソフト対策も進めています。
- ソフト対策としては、想定最大規模及び計画規模の降雨により想定される浸水の可能性を示した「洪水浸水想定区域図」の公表や、住民の円滑かつ迅速な避難行動のため市町村が作成する洪水ハザードマップ（想定最大規模降雨を対象）などの周知、啓発への取組み支援、河川水位等の河川情報の提供を行っています。
- また、避難情報・気象情報・防災マップ等の防災情報を確認できる「大阪防災アプリ」では、市町村が発令中の避難情報や避難所の開設状況などもご確認いただけます。府民のみなさまには、これらの情報を活用し、自らの命を守るための迅速かつ安全な避難行動をとっていただくようお願いいたします。

（参考）

日頃から知ってほしい情報		災害時に見てほしい情報	
サイト・アプリ名	確認できる情報	サイト・アプリ名	確認できる情報
・洪水浸水想定区域図 https://www.pref.osaka.lg.jp/o130100/kasenseibi/keikaku/kozuishinso.html	大阪府管理河川における想定最大規模及び計画規模の降雨により想定される浸水のリスク	・大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html	大阪府域全体の雨量、水位、潮位、河川カメラ等のリアルタイム情報
・ハザードマップポータルサイト https://disaportal.gsi.go.jp/	全国のハザードマップ	・大阪防災アプリ https://www.pref.osaka.lg.jp/o020090/shobobosai/odp-app/index.html	気象情報、市町村が発令中の避難情報や避難所の開設状況、河川カメラ、防災マップ等

4．意見に対する回答

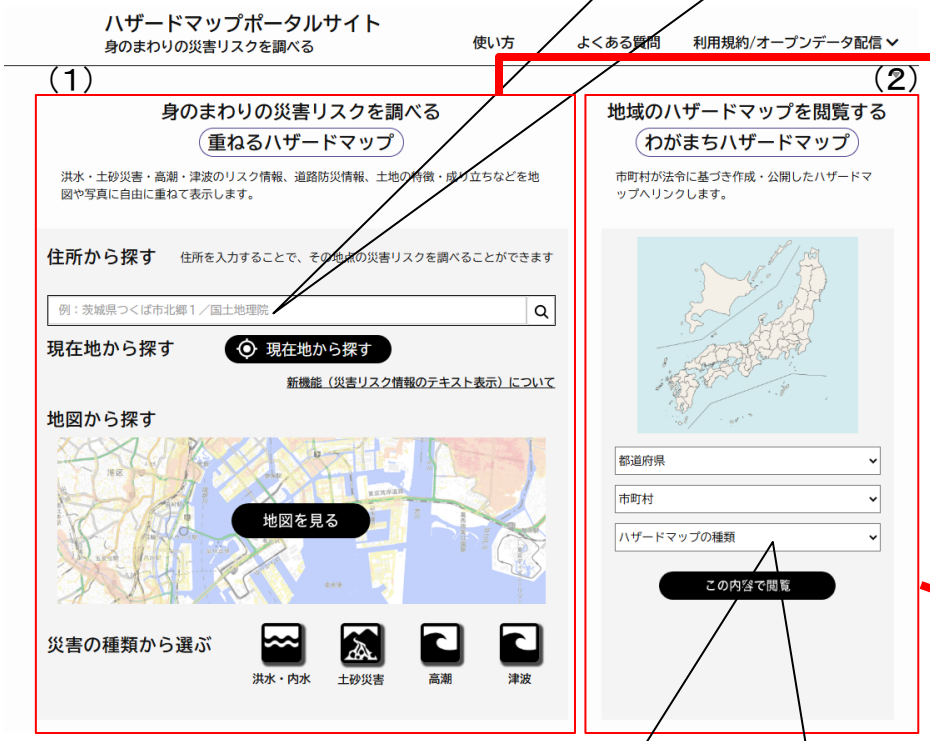
1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見①、②、③ 〈参考〉

➢ ハザードマップポータルサイト

住所を入力することでその地点の災害リスクを調べることができます



（1）



（2）



例えば
「大阪府」「大阪市」「洪水ハザードマップ」を選択

（1）災害リスクを自由に重ねての表示や（2）閲覧したい地域のハザードマップを検索すると公開されているホームページにアクセスが可能となっています。

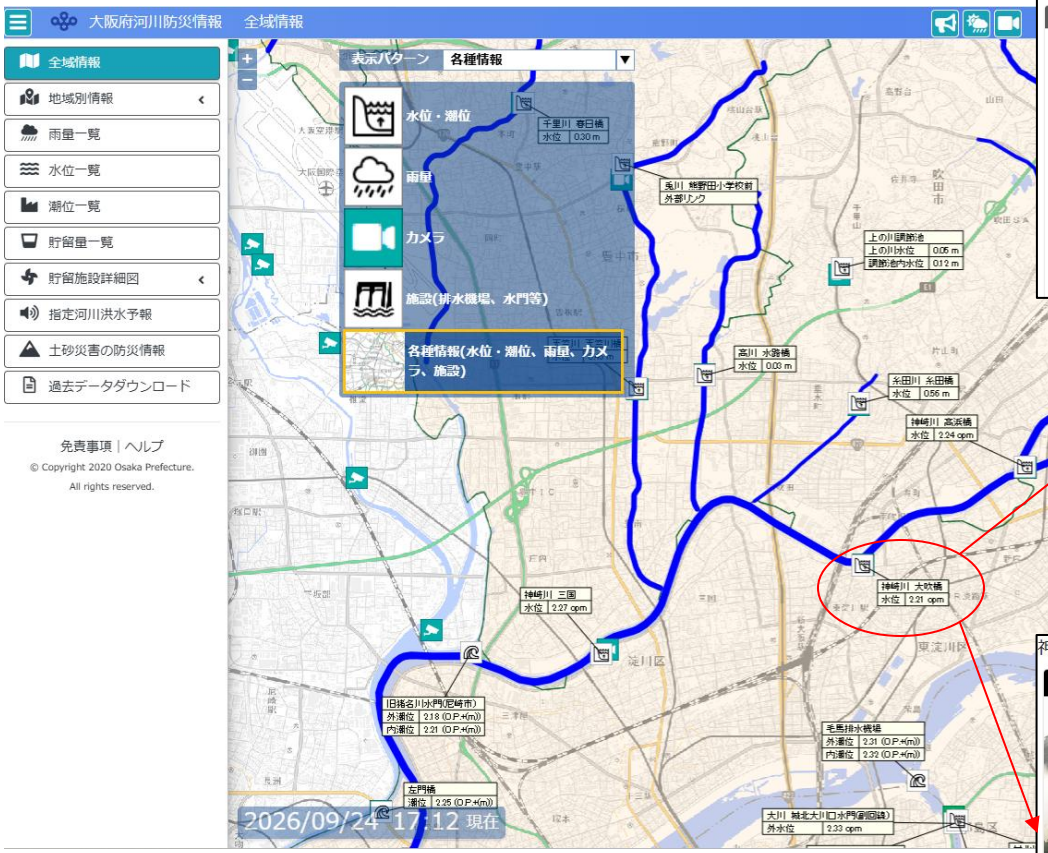
4．意見に対する回答

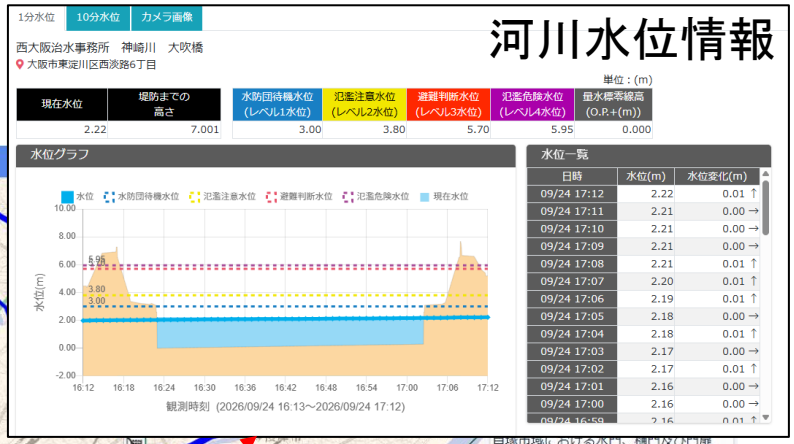
1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見①、②、③〈参考〉

➢ 大阪府河川防災情報







大阪府域全体の雨量、水位、潮位等の情報がリアルタイムで確認可能となっています。

4．意見に対する回答

1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見①、②、③〈参考〉

ダウンロードはこちら

本アプリをダウンロードいただき、迅速な避難行動等へご活用ください。

- 大阪防災アプリ









市町村が発表する避難情報や避難所開設情報などの配信、河川の状況を確認できる河川カメラ、浸水想定区域や避難所の位置などを確認できる防災マップ等の機能を備えた多言語（英語・中国語・韓国語）対応のアプリケーションです。

4．意見に対する回答

1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）	
	意見② **「B/Cについて」** ➢ 河川事業におけるB/C（費用便益比）は、事業によって軽減される洪水被害額などの効果（便益）と、事業に必要となる費用を比較し、事業の経済性を評価するための指標です。一方で、浸水解析や被害額の推計など専門的な内容を含むため、一般の方にとって分かりにくい面があると認識しています。 ➢ いただいたご意見を踏まえ、本資料ではB/Cの考え方について、次頁に図表やイメージ図を用いて整理しておりますので、ご参照ください。 ➢ 今後も、専門的な内容については図表やイラスト等を活用し、より分かりやすい情報提供に努めてまいります。

4．意見に対する回答

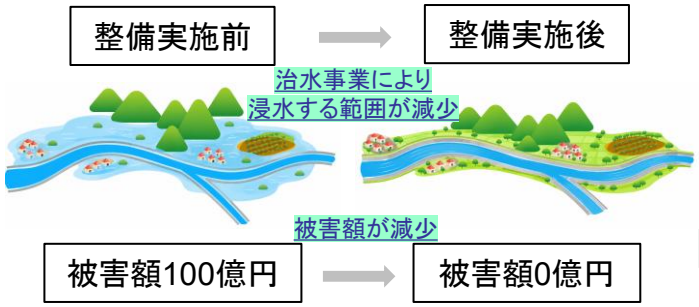
1．治水対策に関するもの

いただいたご意見に対する回答（案）

意見②〈参考〉

治水事業のB/C（費用対効果）は、治水事業の実施により得られる便益（B）と治水事業を実施するための費用（C）を比較することにより経済性を評価するもので、その値が「1」を超えると投資効果があると判断できます。

治水事業による水害被害の軽減効果（便益B）

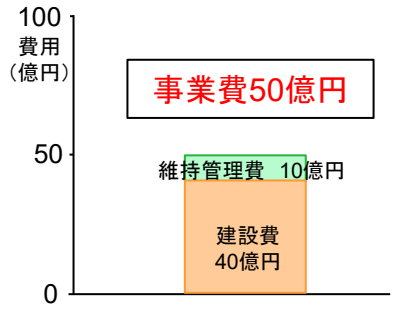


治水事業により、将来の水害による平均的な被害額が**100億円**減らせると評価します。

※被害額は家屋・家庭用品・事業所・農作物等への被害を計上します

これが便益Bです。

治水事業にかかる費用（費用C）



治水事業を行うために必要な建設費や、整備後の維持管理費などで**50億円**が必要と評価します。

※物価高騰の影響等も考慮して算出します。

これが費用Cです。

便益と費用を比べてB/Cを計算

$$\text{治水事業のB/C} = \frac{\text{便益 B}}{\text{費用 C}}$$

今回の例では…

$$\text{B/C} = \frac{100\text{億円}}{50\text{億円}} = 2.0$$

この事業は、
1円の費用に対して、約2.0円分の水害被害を減らす効果がある
と評価できます。

これがB/Cです。

実際の評価では

- ここで示した数値はイメージであり、実際の評価はより詳細な手法で行います。詳細な内容については、治水経済調査マニュアルを併せてご確認ください。

4．意見に対する回答

2．河川環境に関するもの

いただいたご意見（1件）	④休日は神崎川を散歩します。 昔に比べ川の環境が大変よくなったとの印象です。昔は川からイヤな臭いがあり、川に近寄ることがイヤでした。今は全く臭いがなく、サイクルロードも整備され、景観もよくなり、神崎川を散歩することは楽しみの一つです。 今後は水辺にふれあえるような場所をあちこちに整備して欲しいです。よろしくお願いします。
いただいたご意見に対する回答（案）	**意見④** ➢ 水環境や景観について、神崎川では、水質改善に向けた継続的な取組に加え、大阪市、豊中市により河川沿いのサイクリングロードや遊歩道の整備が進められ、地域の皆様に親しまれる河川空間の創出に努めてきました。 ➢ ご要望いただいた「水辺にふれあえる場所の整備」については、災害時に物資輸送等に利用するために整備した防災船着場を活用し、河川に親しむイベントを開催するなど、河川を身近に感じられる環境づくりに取り組んできました。 ➢ 今後も、治水機能の確保を前提としながら、地域の皆様が川に親しみ、憩いの場として利用できる河川空間の維持・向上に努めてまいります。



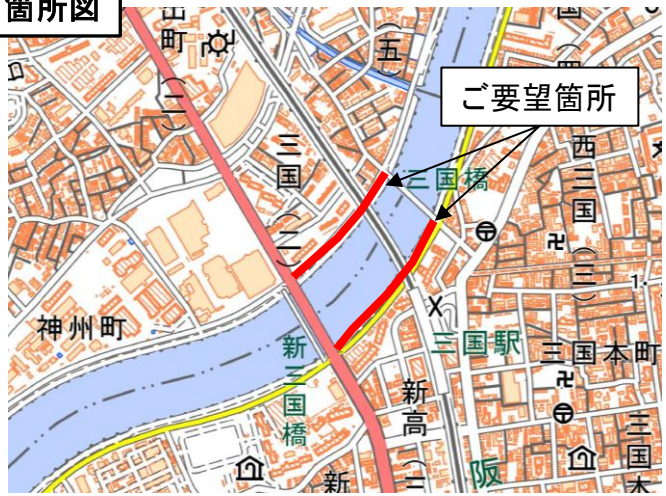






4．意見に対する回答

3. その他

いただいたご意見（1件）	⑤新三国橋から三国橋の間（約300m）車が通行できません。 昔は阪急電車の線路があったので仕方なかったですが、高架になったので物理的に車が通れる構造になっています。 河川整備の話とは違うのかもしれませんが住民の意見としてあげさせてもらいます。
いただいたご意見に対する回答（案）	**意見⑤** ➢ いただいたご意見につきましては、河川整備事業に直接関係するものではありませんが、地域に関するご意見として、関係機関と情報共有させていただきます。 ➢ 今後とも、神崎川周辺のより良い環境づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 箇所図  国土地理院　地理院地図より引用

8．対応方針（案）

対応方針（案）

事業の必要性等

- 神崎川では時間雨量65ミ 程度の降雨が発生した場合に床上浸水発生のリスクがあり、人命や資産に甚大な被害が生じるおそれがある。また、浸水想定区域内に位置する阪急線やJR線、御堂筋線、大企業の本社や多数の工場等の浸水により地域や全国の社会経済活動にも影響が波及することから、河川整備が必要不可欠である。
- 加えて、気候変動の影響により降雨量の増大が予測されており、府民の安全・安心の確保に向けた本事業の必要性がさらに高まっている。
- 以上の観点から、前回評価以降も事業の必要性に変化はなく、引き続き事業を推進することが妥当である。なお、B/Cは8.0であり、事業の経済的妥当性を有する十分な投資効果が認められる。

事業の進捗の見込み

- 淀川水系神崎川下流ブロック河川整備計画（H27年2月策定）及び淀川水系神崎川ブロック河川整備計画（H30年7月改定）、大阪府都市整備中期計画（R3年3月策定）に位置付けて、事業を進めており、令和7年度末で、事業の進捗率は61％である。これまでも、河床掘削を推進し治水安全度の向上に努めるなど、着実に成果を上げており、早期完成を目指し引き続き事業を継続することが妥当である。

コスト縮減や代替案等の可能性

- 河川整備計画に基づく整備を進めるにあたって、残土の処分方法や護岸補強の工法選定等において十分な経済比較を行い、コスト縮減可能・効率的な手法で事業を実施している。

事業の継続

令和８年度第２回大阪府河川整備審議会【資料１－２】の修正について

・令和8年度第2回大阪府河川整備審議会【資料1-2　淀川水系神崎川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	2ページ	2ページ
修正箇所	